



中学時代に観たTV番組で、次世代に引き継がれる仕事を知った本郷伸さん。そこから社会インフラに興味を抱き、建設コンサルタントの西日本技術開発(株)に入社。9年目から新しい部署へ異動になり、知識がさらに深まっている。今後の仕事にける思いを伺った。

●この職業を選んだきっかけ

中学生時代に授業で観たNHKの「プロジェクトX」の「瀬戸大橋」を観て土木に興味を持ったのがきっかけです。そのときは土木よりも大きなプロジェクトを引っ張っているリーダーの強さに惹かれたのを覚えています。それが記憶にあり「将来、地図に残る、社会貢献できる仕事がしたい」と思い、大学は土木工学系の学系を選択しました。

建設コンサルタントを選んだのは、設計の仕事に興味があったからです。また、学生時代に学んだ知識を活かせると思いました。

●職場の魅力や責務

近年は、台風や集中豪雨などが非常に多く、河川の氾濫や土砂崩れ、それに伴う浸水や地すべりなどの被害が多発しています。そうした被害を予防するために、防波堤や砂防ダム、護岸整備などの工事を計画・設計することが建設コンサルタントの仕事です。仕事を通して、人々の安全・安心な暮らしを守ります。

経験を積むほど、やりがいや使命感、達成感を感じています。そこには高度な技術力が常に求められます。経験や学習を怠らず、能力を伸ばすことが建設コンサルタントの責務だと思います。

●仕事のこだわり、ポリシー

建設コンサルタントの仕事は、個人の能力によって結果(業務の品質や顧客からの評価)に差がでることが特徴だと思います。だからこそ、分からないことを、分からないままにせず取り組みます。ただ、最初から「教えてください」とは言いません。自分で考えたことに対して、不明点を先輩や上司に質問し、必ず答えがでるまで行動します。それは入社当時から変わらない自分のルールです。

担い手シリーズ29

問題が起こる前に 現状の数歩先を読み 積極的に行動する

本郷 伸 入社9年目
西日本技術開発株式会社



●仕事上で印象的なエピソード

平成29年7月に起きた、九州北部豪雨の災害対応です。他の仕事とは少し異なり、より迅速な対応が求められるため、災害復旧業務の大変さを痛感しました。災害現場に行くのが初めてでしたので、求められるスピードに付いて行くのが精一杯だったのを覚えています。

忘れられないのは、コンクリートの塊(約2トン)が押し流されて見えたときです。1キロ先にある塊を間近で見えて「こんなところまで」と言葉になりませんでした。また、現場に立つことで護岸の根入れの深さなど、なぜ技術基準が設定されているのか改めて考えました。災害現場へ出向いた経験は、のちの設計業務に多くの気づきを与えてもらったと思います。

●今後の目標

一番の目標は技術士取得が目標です。資格を持つことで、業務の幅は広がりますし、社内外の信頼が高まると思います。

入社時から昨年までは、河川構造物設計の業務に携わっていましたが、現在はグループ異動で河川計画の業務に従事しています。新しい業務によって、仕事の幅が広がりました。河川の設計・計画、どちらも対応できる技術者を目指したいと思っています。



本郷 伸 (ほんごう しん)
北九州市出身。長崎大学 工学部工学科卒業。平成25年4月(株)西日本技術開発入社

会社概要
西日本技術開発(株)
〒810-0004 福岡市中央区渡辺通1-1-1サンセルコビル
TEL. 092-781-2831
<https://www.wjec.co.jp>